

# 思いきりみかん畑の中で

大城翔大さん・ひかるさん



## 子育てにもちようどいい

廣畑和紀さん・友絵さん・凪咲ちゃん



和紀さんはかつらぎ町、友絵さんは静岡県出身。そんなお二人の出会いは東京で、共通の趣味のダイビングサークルから始まったそう。和紀さんの出向期間が終わり、和歌山へ戻つてくるタイミングで結婚を決意。

ダイビングに行きやすく、職場にも近い場所で家を探していたところ、有田市に白羽の矢が。始めはアパートに暮らしながら土地を探し、立地の良い分譲区画があつたことから、有田市に家を建てることに。最初は関西の言葉が難しかったという友絵さん。「言葉は難しかったけど、ご近所さんがよく声をかけてくれて馴染みやすかったです。これまで経験がなかったのでびっくりしたんですが、みかんや野菜をいただいたりもします。最近では、私も夫の言葉がうつってきました(笑)」

凪咲ちゃんは1歳の力月。お一人とも平日は仕事をしな



↑新居の庭は家を建てる時に一番力を入れたところ。家族でご飯を食べたり、ゆったりとした時間を楽しめています。

がり、協力して育児と家事を両立中。「引っ越してきた後から始まつたんですが、市の子育て支援『マリー・ユー』もありがたかったです。ちょうど妊娠中・出産後に使えるチケットもいただけて、手厚かつたです。保健センターでのお母さん向けの催しも多くて嬉しい。」と友絵さん。和紀さんは、「自然も多いし、ゆつたりしていて子育てにいい環境。パパも参加できる保健センターでのイベントがあ

れば」と、育児にも積極的。凪咲ちゃんの「これからいついては、「自分がやりたいと思つたことをやってほしい。でも水泳は習つてくれたら嬉しいな。大きくなつたら一緒にダイビングへ行きたいから」とお二人。

少し涼しい風が吹きはじめた穏やかな昼下がり、家を建てる時に一番こだわつたお庭で、お二人は優しい笑顔で凪咲ちゃんを見守りながら取材に答えてくれました。

5年前、テレビで有田市の新規就農支援策「AGR-LINK」の特集を見て、これならやっていけそうと、勇気を出して有田みかん課に電話をくれた大城さん夫婦。何度か相談を重ね、移住を決意されました。

「飛び込んでみよう」という性格なので、就農への不安はありませんでした。有田市は、自然が豊かで地域の雰囲気も良い。最初にびっくりしたのは、車同士がすれ違う時に相手の顔を確認するところ。常に気にかけてくれる懐の深さが、ちょうど心地よかつたです。」と翔大さん。「みかん畑が壮大。大好きなみかんが思いつきり見える景色はここならでは。毎日見られることが嬉しいです。」とひかるさん。

2年間の研修を経て、昨年5月から独立。今は畑を8反耕作していく、ひかるさんも独立のタイミングで一緒に農業を開始しました。



①二人で摘果作業を行っていきます。②就農を開始した当時の大城さん。③基礎から教えていただいた有田エイト果樹園株の伊藤社長と。④取材の最後には手を振って見送ってくれました。

「」が農家になれば」という思いは、5年前も今も変わらない。「農業はしんどいだけというイメージを変えていきたい。もちろん自然環境が相手なので常に天候のことは気にかけていらっしゃる。みんなが作れるから、土づくりはどうすれば良いといけないが、どうしたらおいしいみかんが作れるか、土づくりはどうすれば良いか、自分で勉強してやり方を決めていくことができました。柔らかい物腰で話してくれたお一人ですが、みかん作りを極めていくという覚悟が伝わってきました。

5年前、テレビで有田市の新規就農支援策「AGR-LINK」の特集を見て、これならやっていけそうと、勇気を出して有田みかん課に電話をくれた大城さん夫婦。何度か相談を重ね、移住を決意されました。

「飛び込んでみよう」という性格なので、就農への不安はありませんでした。有田市は、自然が豊かで地域の雰囲気も良い。最初にびっくりしたのは、車同士がすれ違う時に相手の顔を確認するところ。常に気にかけてくれる懐の深さが、ちょうど心地よかつたです。」と翔大さん。「みかん畑が壮大。大好きなみかんが思いつきり見える景色はここならでは。毎日見られることが嬉しいです。」とひかるさん。

2年間の研修を経て、昨年5月から独立。今は畑を8反耕作していく、ひかるさんも独立のタイミングで一緒に農業を開始しました。

「」が農家になれば」という思いは、5年前も今も変わらない。「農業はしんどいだけというイメージを変えていきたい。もちろん自然環境が相手なので常に天候のことは気にかけていらっしゃる。みんなが作れるから、土づくりはどうすれば良いといけないが、どうしたらおいしいみかんが作れるか、土づくりはどうすれば良いか、自分で勉強してやり方を決めていくことができました。柔らかい物腰で話してくれたお一人ですが、みかん作りを極めていくという覚悟が伝わってきました。

を決めていくことができます。夏場は休みもとりやすいし、オンラインをつかやすい農業って面白い職業だと思つてもうれるように発信していきたい。」

「」が農家になれば」という思いは、5年前も今も変わらない。「農業はしんどいだけというイメージを変えていきたい。もちろん自然環境が相手なので常に天候のことは気にかけていらっしゃる。みんなが作れるから、土づくりはどうすれば良いといけないが、どうしたらおいしいみかんが作れるか、土づくりはどうすれば良いか、自分で勉強してやり方を決めていくことができました。柔らかい物腰で話してくれたお一人ですが、みかん作りを極めていくという覚悟が伝わってきました。